

チャレンジデー2022

実施の手引き



公益財団法人 笹川スポーツ財団

目次

1	年間スケジュール	1
2	開催概要	2
3	チャレンジデー実施に向けた準備	5
4	集計・報告	6
5	チャレンジデー各アワード	8
6	全国共通イベントの実施	10
7	動画プログラムの提供	11
8	チャレンジデー実施自治体へのサポート	12
9	助成金の申請	13
10	事業完了報告書の提出	15
11	チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式への参加	16
12	Q&A（よくあるご質問と回答）	17

1 年間スケジュール

日 程	事 項	備 考
1月 28 日締切	チャレンジデー2022 実施申込締切	当財団ウェブサイトにて 継続実施・新規実施をお知らせください。
1月 31 日～ 2月 7 日	人口情報・参加部門の登録	※2022/1/1 時点の人口をご入力ください。
2月 28 日締切	ポスター Tシャツ・グッズ申込	
2月末	実施自治体数・対戦組合せ発表	
3月 25 日厳守	助成金申請書および 事業計画書の提出締切	助成金申請書マニュアルをご参照ください。 ※締切後に提出された場合は、助成金の概算払いが遅くなりますので、ご注意ください。
4月下旬	助成金決定通知書送付	速やかに請書をご返送ください。
4月 28 日	助成金の概算払い	日にちが前後する場合があります。 速やかに領収書をご提出ください。
5月 18 日	集計システムテスト実施	
5月 23 日	全国共通イベント申込締切	
5月 25 日	チャレンジデー2022 開催	当財団に3回集計結果を報告 13:00／17:00／22:00
6月 3 日	全国共通イベント・ 各種アワード報告締切	
6月 29 日	実施報告書（レポート原稿）提出締切	
8月 26 日	チャレンジデーフォーラム開催	会場：東京都内／申込締切：8月 19 日（金）
10月 14 日厳守	事業完了報告書の提出締切	
10月～12月	助成金確定通知書および 返還依頼通知書発送	返還金のある自治体は、発信日から1週間以内 に当財団の指定口座にお振込みください。
2023年		
12月～1月	チャレンジデー2023 実施の検討・申込	当財団ウェブサイト申込ページにて 実施の意向をお知らせください。

2 開催概要

【基本ルール】

日 時 5月 25 日 (水) 午前 0 時～午後 9 時の 21 時間

人 口 2022 年 1 月 1 日時点の人口に基づき、以下 6 つのカテゴリーに分類します。
住民基本台帳登録者数（外国人登録者含む）

- カテゴリー1 (6,000 人未満)
- カテゴリー2 (6,000 人～15,000 人未満)
- カテゴリー3 (15,000 人～35,000 人未満)
- カテゴリー4 (35,000 人～75,000 人未満)
- カテゴリー5 (75,000 人～160,000 人未満)
- カテゴリー6 (160,000 人以上)

対 象 当日、開催自治体にいる人すべてが対象です。住民以外にも、通勤・通学者、観光客なども対象となります。（参加率が 100% を超える場合もあります）
※年齢・性別による除外規定は設けないこと。

実施要件 当日に「まん延防止等重点措置区域」「緊急事態宣言区域」に指定されている場合、以下の措置をとることとします。

	発令なし	まん延防止等重点措置区域 緊急事態宣言区域
個人・家庭での実施	実施（任意）	
集団プログラム (自治体主催)	実施（任意）	実施（任意） ※ただし、オンライン形式を推奨
集計	実施（任意）	
助成金として 認めるもの	申請書に則る	・発令決定時点で発注済みのもの ・中止の周知に必要なもの
対戦形式	申し込み時のママ	緊急事態宣言区域となった場合のみ、 対戦相手と共にオープン参加に変更（対戦なし）

競技 15分間以上、継続して行った運動・スポーツであればどのような競技でも構いません。実施プログラムは各自治体の実行委員会が任意に設定してください。
※学校の授業・運動部活動、普段行う農作業は除きます。

場所 実施自治体内であれば、自宅、職場、スポーツ施設等どこでも構いません。

参加部門 チャレンジデーへの参加を以下2部門とします。

- ①正式のチャレンジデー（対戦あり）
- ②オープン参加（対戦なし）

【参加部門詳細一覧】

部門	国内対戦	海外対戦	参加率報告	メダル授与	アワード授与
①	○	×	○	○	○
②	×	×	○	○	×

【対戦ありの場合】

対戦相手	カテゴリーごとに SSF チャレンジデー本部（以降、本部）が抽選で対戦相手を決定します。
対戦方法	人口が同規模の自治体同士で、15 分間以上続けて運動やスポーツを実施した住民の参加率（%）を競い合います。
対戦相手との交流	実行委員会の代表同士で、事前に電話やテレビ電話などを通してエール交換を行ってください。お互いの健闘を誓い合うとともに、目標や当日のプログラムなどの情報交換、自治体間交流にご活用ください。
自治体旗の掲揚	事前に対戦相手と自治体旗を交換してください。敗れた自治体には、庁舎に対戦相手の旗を掲揚していただきます。健闘を称え、勝利した自治体が相手の旗を掲げてもかまいません。

3 チャレンジデー実施に向けた準備

- 実行委員会の設置** 広報活動、関係団体への協力依頼、当日のイベント内容などを決定する組織として、実行委員会を設置します。各自治体の行政担当者の他、スポーツ団体、教育機関、障害者・高齢者団体、自治会など多様な組織が関わることが重要です。なお、実行委員会の代表は、基本的に各自治体の首長が就任するようにしてください。
- テーマ・目的の設定** チャレンジデーは、運動やスポーツの習慣化を図るきっかけづくりのイベントです。健康意識や運動・スポーツに対する意識の向上を図るうえでも、テーマや目的を明確にしてください。
- プログラムの企画** 地域の特徴を活かしたプログラムや、オープニング・ファイナルイベントなど、住民の关心と興味を引くイベントの企画が有効です。チャレンジデーをきっかけに、スポーツ団体やプロスポーツチームとの協力関係を深めることで、事後の様々な教室やイベントの開催に繋がっています。事業所や学校単位で全国共通イベント（本紙『6 全国共通イベントの実施』参照）もございます。チャレンジデー2022においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでプログラムの実施が可能です。主要イベントの感染対策については助成金申請書提出時に報告いただきます。
- 広 報 活 動** 地域住民にチャレンジデーを知ってもらうために、自治体広報誌や地元新聞、ラジオ、テレビやCATVなどのメディアを利用して、チャレンジデー当日のイベントや参加方法について周知することが重要です。ユニークな形で広報活動を行った自治体は、ぜひ広報アイデア賞（本紙『5 チャレンジデー各アワード』参照）へエントリーください。
- チャレンジデー大使** チャレンジデー当日、当財団役員等が「チャレンジデー大使」として各実施自治体を訪問します。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更となる場合があります。

4 集計・報告

【参加者数の集計】

集計センターの設置 当日の参加者数を集計するため、集計センターを設置してください。

報告方法 電話やFAX、電子メールなどで集計センターに報告されるようにしてください。スポーツ施設や公民館等に集計 BOX を設置して独自の報告用紙を投函していただいたり、グループ単位（学校や地域、事業所等）で代表者が取りまとめて報告していただいても結構です。

報告締切 午後9時30分 ※時間厳守
チャレンジデーは午後9時に終了しますが、住民の報告締切は午後9時30分までですので、予め住民や関係者への周知を徹底してください。

【実施自治体から笹川スポーツ財団への報告】

報告方法 スポーツ政策データバンク「集計報告」から行います。

※5月18日に正しく報告できるかテストを行います。

詳細はメールニュースにて後日ご案内します。

報告時間	第1回報告締切	<u>午後1時</u>
	第2回報告締切	<u>午後5時</u>
	最終報告締切	<u>午後10時</u> ※時間厳守
結果発表	進捗結果発表①	<u>午後1時30分（予定）</u>
	進捗結果発表②	<u>午後5時30分（予定）</u>
	最終結果発表	<u>午後11時（予定）</u>

※チャレンジデー当日に当財団のウェブサイトで公表します。

※最終結果の発表は全国の報道機関にFAXで一斉にお知らせします。

※最終結果発表までに担当者に連絡することができますので、事務局は結果発表まで解散しないでください。

【禁止事項】

事前登録・事前報告	参加報告はチャレンジデー当日のみ有効です。 事前登録や事前報告を募り、当日の運動・スポーツの実施有無を確認せずに参加報告としてカウントすることは禁止です。
ダブルカウント	ダブルカウントは禁止です。実施者本人が重複して報告することのないよう、周知と確認を徹底してください。
買い物ウォーキング	単に買い物をしている方を運動したとみなしてカウントすることは固く禁止します。買い物ウォーキングと位置づける場合は、チャレンジデーについての周知や呼びかけを必ず行ってください。
生活活動	農作業や草むしり、洗車などの生活活動をそのまま報告しても参加報告としては認められません。「町内対抗草むしり大会」「農作業後のストレッチ習慣化プログラム」など運動・スポーツの要素を加味して実施してください。
部活動・体育	授業で行われる体育や部活動は参加報告の対象外となります。ただし、チャレンジデーのために企画いただいたプログラムを朝時間中・休憩時間中・放課後に取り組んでいただいたものは参加報告いただけます。

5 チャレンジデー各アワード

アワードの趣旨 優れた成果を収めた各自治体を表彰します。

☆チャレンジデー大賞 最も参加率の高かった自治体に贈られる賞

☆カテゴリー優秀賞 各カテゴリー（1～6）で最も参加率が高かった自治体に贈られる賞

☆新人賞 初実施自治体の中で、最も参加率の高かった自治体に贈られる賞

☆参加率アップ賞 2021年と比較して最も参加率の上がった自治体に贈られる賞

☆ベストPR賞 新聞や雑誌、テレビ・ラジオなどの報道機関に多く取上げられた自治体に贈られる賞 **※提出は必須です。**

※以下の提出内容をもとに総合的に判断します。

- <エントリー方法>
- ・報告用紙（報道実績リスト）に、必要事項を記入してください。
 - ・報告用紙と掲載物のデータを zip ファイルにまとめスポーツ政策データバンク「各種結果報告」へアップロードお願いします。

※基本的に、1日1社1媒体を対象とします。

- <提出様式>
- スポーツ政策データバンクマニュアルと5月中旬配信メールニュースをご参照ください。

<提出締切> 6月3日（金）

- <対象外媒体>
- ・市町村の広報紙
 - ・実行委員会で製作したチラシ・ポスター
 - ・広報費を要する新聞掲載
 - ・ケーブルテレビなどのスポットCM

☆広報アイデア賞 チャレンジデーを広く周知するためにユニークな広報活動を実施した自治体に贈られる賞 **※提出は任意です。**

※以下の提出内容をもとに総合的に判断します。

- <エントリー方法>
- ・チャレンジデーを周知するために実施した広報戦略・方法について、報告用紙に詳細を記入してください。
 - ・報告用紙とあわせてスポーツ政策データバンク「各種結果報告」へアップロードお願いします。

- <提出様式>
- スポーツ政策データバンクマニュアルと5月中旬配信メールニュースをご参照ください。

<提出締切> 6月3日（金）

☆笹川スポーツ財団特別賞

チャレンジデーの普及促進に貢献し、住民のスポーツ参加を積極的に推進した自治体・団体に贈られる賞
※該当がない年もあります。

☆殿堂入り

以下アワードを合計5回以上受賞した自治体が該当

- ・チャレンジデー大賞
- ・ベストPR賞

※チャレンジデー2022終了時点で条件を満たした自治体は殿堂入りとなります。殿堂入りを果たしたアワードについては、翌年度以降は受賞対象外となりますので、予めご了承ください。

なお、殿堂入り自治体につきましては記念品を贈呈するとともに、その取り組みを称え、チャレンジデーレポートに毎年その功績を掲載いたします。

トロフィーの授与

アワード受賞自治体には、後日記念のトロフィーが授与されます。また、「チャレンジデーフォーラム 2022・メダル認定証授与式（8月26日（金）」にて、表彰します。

メダル認定証の授与

実施自治体の健闘を称え、参加率に応じた金・銀・銅のメダル認定証を授与します。

メダル認定証基準

メダル授与の基準は、カテゴリーと参加率によって決定します。

カテゴリー	金メダル	銀メダル	銅メダル
1	65%以上	40～65%未満	40%未満
2	60%以上	36～60%未満	36%未満
3	55%以上	32～55%未満	32%未満
4	51%以上	28～51%未満	28%未満
5	47%以上	24～47%未満	24%未満
6	43%以上	20～43%未満	20%未満

6 全国共通イベントの実施

目的 全国の参加者の交流やチャレンジマーの盛り上げを目的として、実施自治体の参加者が共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施しています。2022年は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施できるプログラムを参加自治体の投票により決定しました。

- 【実施種目】**
- ・チームふらば～るボール ライト
 - ・ビニール傘玉入れ
 - ・バスケットボール入れ

※各実施種目のルールは、詳細が決定次第、メールニュースでご案内いたします。

【基本ルール】

日 時 5月25日（水）午前0時～午後9時の21時間

参加条件 参加種目数と参加チーム数に制限はございません。

申込方法 スポーツ政策データバンク（SPD）の『共通イベント』より参加種目と参加チーム数をご入力ください。

結果報告 スポーツ政策データバンクより、記録報告用紙をダウンロードし記録を記入の上アップロードしてください。

申込期間 3月22日（火）～5月23日（月）

結果報告期間 5月26日（木）～6月3日（金）

結果発表 結果はメールニュースにてお知らせします。また、「SSFセミナー・メダル認定証授与式」にて、各種目の上位3位を表彰します。

留意事項 全国共通イベントの用具代は助成金の対象となります。（上限あり）
※詳細は、「助成金対象経費一覧」の「消耗品費」をご確認ください。

7 動画プログラムの提供

概要 新型コロナウイルス感染症対策を講じたプログラムとして、ミズノ株式会社の協力のもと、個人または家族でできる動画プログラムを提供いたします。通常、有料のプログラムをチャレンジデーでは無料で体験できます。

- プログラム**
- ①「ながら運動」動画配信（YouTubeによるオンデマンド配信）
 - ②アスリートによる楽しく身体を動かす動画配信
(YouTubeによるオンデマンド配信)
 - ③子ども向けオンライン教室配信（ZOOMによるLIVE配信）

参加方法 ①②は5月中旬頃～チャレンジデー当日まで 笹川スポーツ財団の公式 YouTube チャンネルより視聴いただけます（URLは事前にご案内いたします）。申込みは不要ですので、住民への周知をお願いします。
③はLIVE配信のため、**申込み必須です（3月中旬頃より、WEBフォームにて申込み開始予定）**。申込み多数の場合は、実施自治体は抽選で決定させていただきます。決定後、ミズノ担当者との事前打ち合わせを経て当日を迎えていただきます。保育園や幼稚園向けプログラムとしてぜひ活用ください。

※プログラムの詳細は、3月中旬頃、メールニュースで案内させていただきます。

8 チャレンジデー実施自治体へのサポート

チャレンジデー実施に向け、笹川スポーツ財団は以下のサポートを行っております。

事業説明 実行委員会や関係者が集まる会議等で当財団担当者による事業説明を行っております。

情報提供 確認事項や連絡事項等を伝える「チャレンジデーニュース」を配信します。提出物や締切等の重要な内容もこちらでお知らせしますので、必ずご確認ください。メールの受信設定の関係で、外部からのメールが受信できない場合は本部までご連絡ください。

財政支援 実施に必要な経費の一部を助成します。

報道機関等への PR チャレンジデーを盛り上げるために報道機関をはじめとする関係機関に事前・事後の広報活動を行います。

T シャツと関連グッズの無料提供

※無料提供分 T シャツの利益を目的とした転売は禁止します。

※参加部門による配布数の差はございません。

	T シャツ (無料分)	関連グッズ (有料分)	ポスター
サイズ	S、M、L、XL	-	B2 サイズ
申込方法	グッズ申込ページより申込		ポスター無料提供分希望枚数申請ページより申込
申込締切	2月28日（月）厳守		
配布枚数	メールニュース参照ください		
発送時期	4月27日頃	4月12日頃	3月下旬頃

T シャツやポスターなどの各グッズデザインの詳細は、当財団ウェブサイト「事務書類・チラシ」ページにてご確認ください。

参加率速報の提供 チャレンジデー当日、全実施自治体の参加率を一定時ごとに取りまとめ、実施自治体をはじめ全国の報道機関各社にFAX・メールで参加率速報をリリースします。

9 助成金の申請

1. 助成金申請書の提出

申請団体 チャレンジデー2022 を実施するために自治体が構成した実行委員会

申請期間 ~2022年3月25日（金）※厳守

助成対象期間 2022年4月1日（金）~2021年8月31日（水）

※領収書の宛名は申請書の差出人である「実行委員会名」で統一。

※領収書の宛名・日付未記入または、上記期間外の場合、

助成対象外経費とします。

その他留意事項 助成金対象経費一覧シート参照

※提出書類や提出方法は、助成金申請書のマニュアルシート参照

2. 助成金概算支払い額の決定と概算払い

通知時期 4月下旬「助成金決定通知書」を郵送

提出書類 「助成金決定通知書」が到着後、同封の「請書」に必要事項を記入押印の上、
当財団に提出

振込時期 4月30日頃 ※時期が前後する可能性がございます。予めご了承ください。

提出書類 振込確認後「助成金決定通知書」と同封の「領収書」に必要事項を記入押印の
上、当財団に提出してください。

3. 助成金概算支払い額の算出方法

チャレンジデー2022 の実施に伴う助成対象経費の一部（最大 80%）を助成といたします。なお、下記表の通りカテゴリ別に助成金上限額を設けます。

※オープン参加は対象経費合計額において正式参加の 1/2 とします。

「助成対象経費合計」 × 「補助率（80%）」 = 「助成金申請額」

【正式参加】

カテゴリ	助成金上限満額受領に必要な 自治体負担額	助成対象経費合計		助成金上限額
1	60,000 円	300,000 円	以上	240,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
2	86,000 円	430,000 円	以上	344,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
3	120,000 円	600,000 円	以上	480,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
4	140,000 円	700,000 円	以上	560,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
5	186,000 円	930,000 円	以上	744,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
6	236,000 円	1,180,000 円	以上	944,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%

【オープン参加】

カテゴリ	助成金上限満額受領に必要な 自治体負担額	助成対象経費合計		助成金上限額
1	30,000 円	150,000 円	以上	120,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
2	43,000 円	215,000 円	以上	172,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
3	60,000 円	300,000 円	以上	240,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
4	70,000 円	350,000 円	以上	280,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
5	93,000 円	465,000 円	以上	372,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%
6	118,000 円	590,000 円	以上	472,000 円
			未満	助成対象経費合計の 80%

10 事業完了報告書の提出

1. 事業完了報告書の提出

申請団体 チャレンジデー2022 を実施するために自治体が構成した実行委員会

報告期間 2022 年 10 月 14 日（金）

助成対象期間 2022 年 4 月 1 日（金）～2021 年 8 月 31 日（水）

※領収書の宛名は申請書の差出人である「実行委員会名」で統一。

※領収書の日付未記入または、上記期間外の場合、助成対象外とする。

※提出書類や提出方法は、事業完了報告書（実施後、ご案内）のマニュアルシート参照

2. 助成金額の確定

確定時期 2022 年 11 月～12 月

確定通知書 完了報告書に基づき助成金額を確定し郵送

返還依頼通知書 概算払額よりも確定額が下回った場合、返還金が生じます。

返還依頼通知書をご確認の上、発信日から 1 週間以内に当財団の指定口座へお振込みください。

発信日から 1 週間以内に指定の口座に返還金をお振込みください。

11 チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式への参加

【開催趣旨】 当財団では、チャレンジデー実施自治体をはじめ、スポーツに携わる関係者を対象に、スポーツ振興に有益な情報を共有する場としてフォーラムを開催しています。第1部では基調講演とパネルディスカッションのほか、外部連携で実現した事例を紹介します。第2部では、5月25日に開催された「チャレンジデー2022」で好成績を残した自治体を表彰するメダル認定授与式も行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日 8月26日（金）15時開始予定

会場 東京都内を予定

対象者 チャレンジデー実施自治体・実施検討自治体のスポーツ振興担当者スポーツに関心のある自治体関係者、スポーツ振興団体関係者、報道機関など

参加申込方法 当財団ウェブサイトよりお申し込みください。（8月19日（金）締切）
※チャレンジデー実施自治体は、チャレンジデーフォーラム・メダル認定証授与式出席における交通費と宿泊費（実費）1名分が助成対象経費となります。

荒天等による開催中止 荒天等のやむを得ない事情によりフォーラムの開催が中止となった場合、交通費と宿泊費のキャンセル手数料は助成対象経費とします。
キャンセル手続きを行わなかった場合、交通費と宿泊費はすべて助成対象外経費となりますのでご注意ください。

定員 約130名（先着順）

内容 ※詳細は決まり次第お知らせいたします。

12 Q&A（よくあるご質問と回答）

Q. 今後中止の可能性はあるか。

A. 実施プログラムの内容、実施方法などに制限をかける可能性はありますが、中止の予定はありません。実施要件については、本紙2『開催概要』をご確認ください。

【集団プログラムについて】

Q. 集団プログラムの内容は、コロナ禍以前の実施内容と同じでも大丈夫か。何か制限はあるか。

A. SSFで「チャレンジデー実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を作成しましたのでそちらの内容を遵守の上、実施をお願いいたします。また、ごみ拾いや、空き缶を活用したプログラムなどは、感染リスクを鑑みて、今回は実施しないようお願いいたします。上記ほか、新型コロナウイルス感染症の感染経路となり得る種目についても実施をお見送りくださるようお願いいたします。主要イベントの感染対策については助成金申請書提出時に報告いただきます。

Q. 集団プログラムは予め申請していないといけないのか（事後に申請してもいいか）

A. チャレンジデー2022では全てのプログラムの事前申請は行いません。ただし、主要プログラムの感染対策については、助成金申請書提出時に報告いただきます。

【その他】

Q. チャレンジデー実行委員会の会議開催時期や回数はきまっているのか。

A. 指定はございません。各自治体にお任せします。

Q. メールニュースの添付ファイルが開けない。

A. メールニュースは配信後、当財団ウェブサイト「過去のメールニュース」にバックナンバーを全て掲載しておりますので、該当のメールニュースをご参照ください。

Q. チャレンジデーのロゴマークを製作物等に使用したい。

A. 当財団ウェブサイトより「チャレンジデー」のロゴマークをダウンロードしご使用ください。<https://www.ssf.or.jp/dotank/challengeday/2021/logo.html>

※ チャレンジデーに関する製作物以外への使用は禁止とします。

Q. チャレンジデー広報グッズの申込が締切期限に間に合わない。

A. 締切後はグッズチラシ記載の問い合わせ先に直接お問い合わせください。

Q. エール交換は時期や方法に決まりはあるのか。

A. 決まりは設けておりませんので、各自治体にお任せいたします。

Q. eスポーツは認められるのか。

- A. 体を動かすきっかけ作りとしてチャレンジデー及び各種イベントを実施していただきたいので、身体活動を優先してください。

Q. 買い物ウォーキングは認められるのか。

- A. チャレンジデーであることを買い物の前にお声掛けいただく等、事前の意識づけとその報告を前提に、参加者のカウントをお願いします。

笹川スポーツ財団 チャレンジデー本部

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3 階

TEL : 03-6229-5300 FAX : 03-6229-5340

Email : cday@ssf.or.jp